

## スミセイ Vitality カップ

### JVA 第 45 回全日本バレーボール小学生大会（令和 7 年度）

#### 宮城県決勝大会開催要項

- 主催 後援 公益財団法人 日本バレーボール協会／日本小学生バレーボール連盟／読売新聞社  
公益財団法人 日本スポーツ協会日本スポーツ少年団／報知新聞社(予定)  
宮城県スポーツ協会宮城県スポーツ少年団／宮城県大崎市教育委員会／  
宮城県加美町教育委員会
- 特別協賛 協賛 住友生命保険相互会社  
ゼビオグループ／デサントジャパン株式会社／株式会社ピーアンドピー浜松／  
丸大食品株式会社／三井住友信託銀行株式会社
- 協力 オフィシャルボール 株式会社プレナス  
株式会社ミカサ／株式会社モルテン
- 主管 宮城県バレーボール協会／宮城県小学生バレーボール連盟  
スミセイ Vitality カップ JVA 第 4 5 回全日本バレーボール小学生大会実行委員会
- 1 大会の趣旨 (1) 教育的配慮の下に、バレーボールを通じて県内の児童の親睦と交流を図る。  
(2) バレーボールによる小学生の体力向上とたくましい意欲の養成に努める。  
(3) 小学生から正しいバレーボールの基本技術とチームプレーを体得し、楽しいゲームができるよう指導する。
- 2 開催日 令和 7 年 6 月 21(土)～22 日(日)
- 3 会場 加美町陶芸の里総合体育館／古川総合体育館
- 4 開会式 令和 7 年 6 月 21 日(土)各競技会場にて実施します。
- 5 監督会議 令和 7 年 6 月 7 日(土) 14:00～ 富谷市富谷スポーツセンター武道館 会議室  
※各チーム 1 名の参加とする。
- 6 参加資格 (1)2013 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、同年、5 月 1 日現在、国、公、私立の  
小学校および各種学校に在学していること。  
(2)公益財団法人 日本バレーボール協会加盟団体登録規程に基づき、令和 7 年 4 月 1 日  
以降、宮城県大会参加申込書締め切り日までに、公益財団法人 日本バレーボール協会  
MRS の登録を済ませていること。  
なお、宮城県スポーツ少年団に加盟しているチームも、同様の手続きを済ませること。  
※宮城県大会期間中に、他チームから登録し、その後移籍した者については認めない。
7. 競技規則 令和 7 年度 公益財団法人 日本バレーボール協会の定める 6 人制競技規則による。  
但し、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。

テクニカルタイムアウトは1セット1回〈11点/第3セットは8点〉とするが、大会当日の気温等の条件によって、7点と14点の2回とする場合もある。

8. 競技方法 参加チーム数が確定後、競技方法を決定する。3位決定戦は行わない。

(1) 女子の部/混合の部 各ブロック県決勝大会出場数比例配分

	仙南	仙台市	東部	黒川	東部	計
女子の部	3	5	1	2	7	18
混合の部	6	16	3	2	8	35

(2) 男子の部 各ブロックの予選大会は実施せず、直接県決勝大会を実施する。

- 9 チーム編成
- (1) 全ての大会(ブロック大会・地区大会)において、チームは監督1名、コーチ2名まで、マネージャー1名、選手14名以内とする。
- (2) 県大会に出場するチームは、監督、コーチ、マネージャーは、同一団体に限り変更できる。選手については、同一団体内で参加資格を満たしている者であれば、ブロック大会・地区大会時と違う選手に交代してもよい。ただし、同一団体であっても、他の部門に参加している場合には、大会期間中(予選から本大会)は他のチームの構成員として参加することはできない。同じ部門に2チーム参加している場合には、Aチームのメンバーが14人に満たない場合はBチームのメンバーから追加できる。(特別な交代、補充は同一団体に登録されている選手に限る。)
- ※全国大会においても同一団体内で参加資格を有しているものであれば、都道府県大会時と違う選手に交代してもよい。
- ただし、補充については、(2)に準ずる。
- (3) 監督・コーチは成人であること。又、ベンチスタッフの1名以上は、日本小学生バレーボール連盟主催の指導者講習会(一次・二次のいずれか)を受講した者、または公益財団法人日本スポーツ協会認定バレーボールのスタートコーチ・コーチ1~4のいずれかの資格取得者か日本小学生バレーボール連盟認定指導者でなければならない。
- 又、試合時には証明書等を胸にさげていなければならない。
- (4) 全国大会出場においても指導者資格は(3)と同様となる。
- (5) ベンチスタッフは、JVA-MRSに登録され、かつ、宣誓書を提出した者に限る。(MRSに役員登録している方もチームスタッフとして登録が必要。)
- 監督、コーチ、マネージャーの服装は、統一された服装でなければならない。また、短パン、Tシャツは不可とし、監督、コーチ、マネージャー章を各チーム側で用意し、必ず左胸に付けること。
- ただし、小学生がベンチスタッフとして入る場合、短パン、Tシャツを認める。(Tシャツの色は他のベンチスタッフと異なってもよい。)
- (6) 成人のベンチスタッフは、日常子供たちの健全育成を目指して指導に当たっている宮城県小学生バレーボール連盟が認めた者であること。体罰、暴力、暴言、セクシャルハラスメント等、指導者として不適切な行為を行っている者の出場は認めない。
- (7) 他都道府県在住であって、新年度の登録の際に移籍登録した選手は、ベンチには3分の1以内とする。また、コート上には2名以内とする。他都道府県在住であっても、前年度までに登録していればこの制度の対象とはならない。監督は試合時に、新年度移籍登録選

手の番号を審判員と確認しておくこと。

(8) 混合の部では、コート内に男子及び女子が常に1人以上いること。

- 10 審判員 公益財団法人 日本バレーボール協会並びに都道府県バレーボール協会公認審判員。
- 11 使用球 公益財団法人日本バレーボール協会が公認する人工皮革軽量4号カラーボール  
男子・混合：モルテン(V4M5000-L)ボール/女子：ミカサ(V400W-L)(円周62~64cm  
重量200~220g)を使用する。※ボールの内気圧については、6人制競技規則による。

- 12 競技服装 (1)選手の背番号は1~99とするが、1~14番が望ましい。  
13・14番のユニフォームが揃わない場合は、今大会に限りTシャツにゼッケン等で  
番号を入れた服装でのベンチ入りを認める。
- (2)ユニフォームの背番号の色は、ルールに則って地の色と対照的な色を使用し、誰もが  
見え易いものにする。
- (3)ユニフォームは胸部もしくは背部にJVA—MRSに届け出たチームネーム又はそれを  
特定できる略称を付けること。
- (4)混合チームのユニフォームは、男女で違うユニフォームを着用し、番号が重ならない  
ようにする。ただし、第45回大会においては違うユニフォームを用意できない場合は、  
ソックスの色をかえるかまたは男子・女子のいずれかが識別用バンドを腕か足首に付け  
て一目で判別できるようにすること。(類似している場合も同様とする)

- 13 参加料 ¥5,000 監督会議開催日に受付で納入すること。

- 14 申込方法 参加申込の手順は以下の通りとする。
- 各ブロック予選を行い、ブロック長の推薦を得たチームを各ブロック競技委員長がまとめ  
申込期限まで競技委員長に報告する。  
<参加申込書はすでに提出している申込書を移行する。>

- 15 申込期限 令和7年6月1日(日)／各ブロック競技委員長の報告をもって申込完了とする。

- 16 表彰 優勝：表彰状／トロフィー 準優勝：表彰状／楯 第3位：表彰状／楯  
・各カテゴリーの優勝チームを宮城県代表として、全国大会に推薦する。  
・男子の部優勝、女子の部・混合の部の優勝並びに準優勝チームを第40回  
東北小学生バレーボール選手権大会山形大会の宮城県代表として推薦する。

## 17 その他

### (1) ユニフォームについて

都道府県名の大きさと位置は、チームネームより小さく(高さ)袖か襟下とする。

ベンチスタッフのシャツのイン・アウトはノーコントロールとする。但し、選手は  
基本インとする。

ユニフォーム確認をブロック大会から実施する。(様式でメールにて各ブロック競技  
委員長へ提出のこと。)

### (2) ベンチの持ち込み物について

飲料水の水筒は、ペットボトルは不可だが、スクイズボトルや吸引式のボトルではなく  
てもワンタッチ式の蓋つき水筒であれば可とする。(ベンチスタッフは今回はOK。)  
キャンピングカートは使用禁止とする。

スマートウォッチ(スマートフォン)を時計として使用する事は認める。  
(通信機器やカメラとしては使用禁止とする。スマートフォンも同様。)

(3) 受付時に必要な提出書類について

エントリーシート 2 枚、エントリー変更届

(4) 帯同審判について

第一試合は指定、第二試合からは前試合の敗者が行う。

(5) 応援について

チームの座席又は最前列の応援席を利用する・  
状況に応じて声出し応援はマスク着用をお願いする場合があります。  
鳴り物応援は禁止とする。

(6) 個人情報及び肖像権の取扱いについて

(1)宮城県小学生バレーボール連盟(以下、宮小連)は、大会開催にあたり、以下の目的のために個人情報を取得する。

- ・大会の申込み手続き及び参加資格審査
- ・大会運営上必要なプログラム編成及び作成
- ・大会時のアナウンス
- ・大会結果掲載にかかわること(表彰、掲示板、ホームページ、大会記録集、報道等)
- ・大会運営に必要な連絡
- ・大会関係機関・団体又は当連盟に認められた企業からの情報提供

※1 大会結果(記録)は、参加申込書に記載されている情報(氏名、市町村)とともに主催者及び主管団体を通じた公開、大会関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載、次回以降の大会プログラムへの掲載等で公表することがある。

※2 参加チーム名および参加者氏名の情報は、グラフィックパネル(参加チーム集合写真パネル)の作製のため、写真撮影企業へ提供される。

(2)大会参加者の大会活動期間中の肖像権については、宮小連に帰属するものとし、以下のとおり取り扱う。

- ・大会関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真、映像が新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ、インターネット等に掲載されることがある。
- ・宮小連に認められた写真撮影企業によって撮影された写真が、大会参加チーム・関係者を対象に販売されることがある。

(3)宮小連は、本人またはその代理人から、保有する個人情報について、開示、訂正、追加、削除、利用停止、消去の請求があった場合、法令に則って、所定の手続に従い、誠意をもって対応する。また、本人から利用目的の通知を求められたときは、本人に対し、法令に則って、所定の手続に従い、遅滞なく通知する。

以上に関しては、申込書提出をもって承諾した事とする。